

## 平成 17 年度 化学物質の排出量・移動量の集計結果 (平成 18 年度届出分)

平成 19 年 3 月

三重県環境森林部地球温暖化対策室

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）に基づき届出・推計された、平成 17 年度における三重県内の化学物質（人の健康や動植物の生息・生育に支障を及ぼすおそれ等がある 354 種類の第一種指定化学物質）の排出量・移動量を集計しました。

### 1. 概要

	平成 17 年度	平成 16 年度	前年度比
排出量・移動量の合計	21,672 トン	20,262 トン	+1,410 トン
排出量	13,889 トン	13,913 トン	-24 トン
届出対象の事業所からの排出量※1	8,342 トン (60%)	8,122 トン (59%)	+220 トン
届出対象外の事業所からの排出量※2	2,075 トン (15%)	2,135 トン (15%)	-60 トン
家庭からの排出量※3	1,147 トン (8%)	1,255 トン (9%)	-108 トン
移動体からの排出量※4	2,325 トン (17%)	2,401 トン (17%)	-76 トン
移動量※5 (届出対象の事業所のみ)	7,783 トン	6,349 トン	+1,434 トン
※1 及び※5 の届出事業所数	855 事業所	861 事業所	-6 事業所

※1 及び※5 は PRTR 法に基づく届出値、※2～※4 は国による推計値。

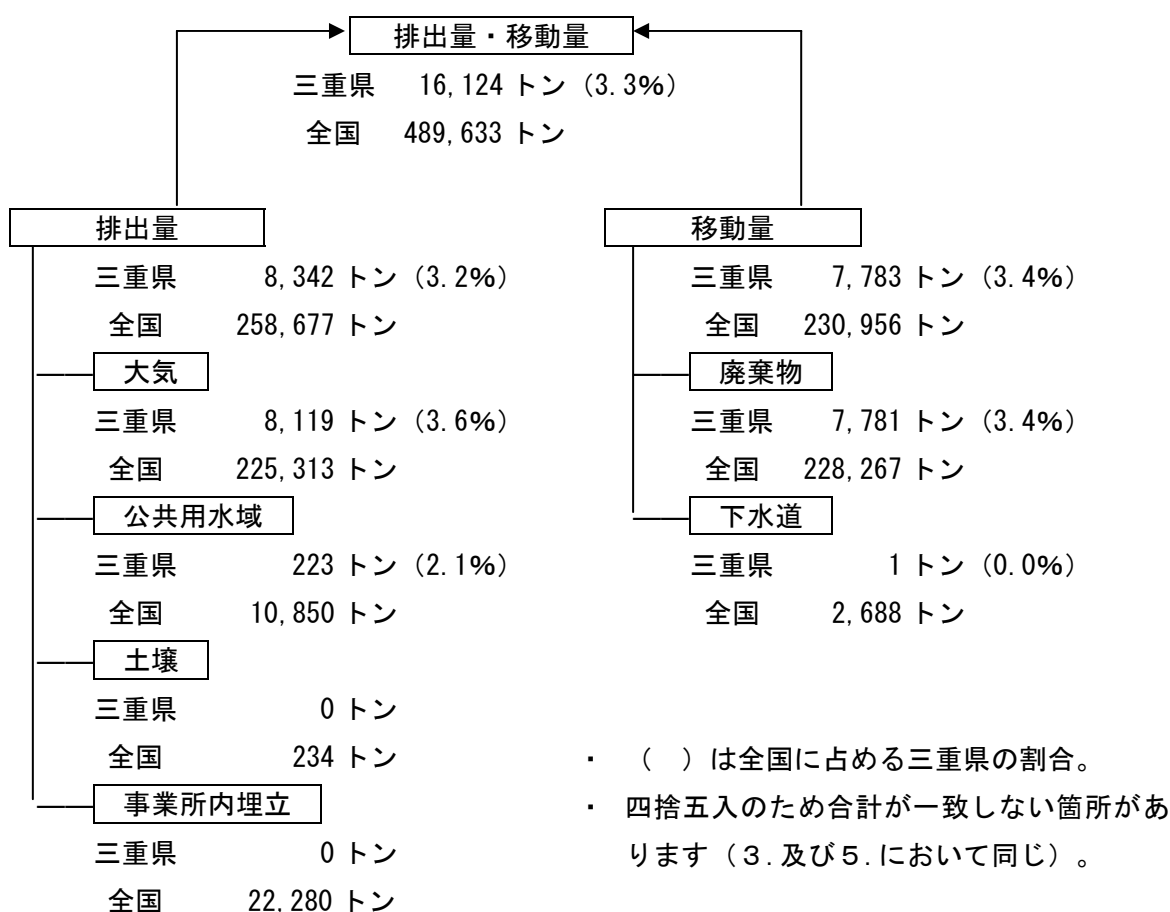
平成 17 年度の化学物質の排出量・移動量は、届出対象外の事業所、家庭及び移動体からの排出量が前年度よりも減少していますが、届出対象の事業所からの排出量及び移動量が増加したことにより、前年度よりも 1,410 トン増加しています。これは、特定の事業所の製品開発に伴って大幅な増加があったことによるものです。

なお、当該事業所には排出量及び移動量を抑制するよう指導しています。

(参考)

- ※1 届出対象の事業所からの排出量…PRTR法で届出が義務付けられている事業所(製造業等23業種に該当し、従業員数が21人以上、化学物質を年間1トン以上(特定第一種指定化学物質にあつては0.5トン以上)取扱う事業所又は焼却炉などの特定の施設を有している事業所)からの排出量。大気、公共用水域、土壌、事業所内埋立の4区分がある。
- ※2 届出対象外の事業所からの排出量…PRTR法の届出対象事業所以外の事業所(業種が異なる、従業員数が21人に満たないなど、PRTR法の規定による届出義務がない事業所)からの排出量。
- ※3 家庭からの排出量…一般家庭における殺虫剤、洗剤などの家庭用製品の使用に伴う排出量。
- ※4 移動体からの排出量…自動車、二輪車、特殊自動車、船舶、鉄道車両、航空機など、移動体の運行に伴う排出量。
- ※5 移動量…廃棄物、下水道の2区分がある。

## 2. 届出対象事業所から排出・移動した化学物質の内訳



### 3. 届出対象事業所から排出・移動した主な化学物質

#### (1) 大気への排出

順位	物質名	排出量 (トン)	主な用途
1	トルエン	3,279	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
2	キシレン	1,831	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
3	ジクロロメタン (別名 塩化メチレン)	1,393	金属部品の脱脂、各種の溶剤
4	エチルベンゼン	403	スチレンの原料 油性塗料、接着剤などの溶剤中の一成分
5	スチレン	355	合成樹脂や合成樹脂塗料の原料
	その他	857	
	合計	8,119	

#### (2) 公共用水域への排出

順位	物質名	排出量 (トン)	主な用途
1	ふっ化水素及びその水溶性塩	70	代替フロン、ふっ素樹脂の原料、ガラスや金属の表面加工
2	マンガン及びその化合物	60	合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤 【二酸化マンガン】乾電池や酸化剤 【過マンガン酸カリウム】飲料水の処理
3	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	21	合成界面活性剤(業務用)、化粧品の乳化剤
4	亜鉛の水溶性化合物	14	【塩化亜鉛】活性炭、染料や農薬の製造過程で使用、乾電池の電解液 【硫酸亜鉛】レーヨンの製造過程で使用、点眼液
5	ほう素及びその化合物	8	ガラス繊維の原料、 【ほう酸、ほう酸ナトリウム】害虫駆除剤、洗濯用漂白剤
	その他	50	
	合計	223	

(3) 事業所外への廃棄物としての移動

順位	物質名	移動量 (トン)	主な用途
1	トルエン	1,454	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
2	ジクロロメタン (別名 塩化メ チレン)	1,011	金属部品の脱脂、各種の溶剤
3	マンガン及びそ の化合物	909	合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤 【二酸化マンガン】乾電池、酸化剤 【過マンガン酸カリウム】飲料水の処理で使用
4	キシレン	774	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
5	N,N-ジメチルホ ルムアミド	718	溶剤として、合成皮革、合成繊維や他の化学物質な どをつくる際に使用、触媒やガス吸収剤
	その他	2,916	
	合計	7,781	

#### 4. 家庭・移動体から排出された主な化学物質

##### (1) 家庭

順位	物質名	排出量 (トン)	主な用途
1	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	367	合成界面活性剤(家庭の台所用・洗濯 用洗剤)、化粧品の乳化剤
2	直鎖アルキルベンゼンス ルホン酸及びその塩	302	合成洗剤の主成分(LAS)
3	p-ジクロロベンゼン	298	衣類の防虫剤、トイレの消臭剤
4	N,N-ジメチルドデシルア ミン=N-オキシド	42	台所用洗剤の成分
5	2-アミノエタノール	34	洗剤や化粧品などのpH調整剤
	その他	104	
	合計	1,147	

全国の家から排出された化学物質は55,033トンであり、三重県は全国の2.1%を占めています。

##### (2) 移動体

順位	物質名	排出量 (トン)	排出原因
1	トルエン	849	ガソリンや灯油等の燃焼
2	キシレン	504	
3	ベンゼン	261	
4	ホルムアルデヒド	252	
5	エチルベンゼン	136	
	その他	323	
	合計	2,325	

全国の移動体から排出された化学物質は124,024トンであり、三重県は全国の1.9%を占めています。

## 5. 市町別の化学物質排出・移動量（届出対象事業所）

### （1）大気への排出

順位	平成 17 年度		平成 16 年度	
	市町名	排出量(トン)	市町名	排出量(トン)
1	四日市市	2,431	四日市市	1,539
2	津市	1,221	鈴鹿市	1,231
3	名張市	1,037	津市	1,202
4	鈴鹿市	968	伊賀市	1,034
5	伊賀市	808	名張市	971
	その他	1,652	その他	1,748
	合計	8,119	合計	7,725

### （2）公共用水域への排出

順位	平成 17 年度		平成 16 年度	
	市町名	排出量(トン)	市町名	排出量(トン)
1	四日市市	196	四日市市	373
2	津市	7	津市	7
3	桑名市	7	桑名市	6
4	いなべ市	6	鈴鹿市	3
5	鈴鹿市	3	伊賀市	2
	その他	5	その他	5
	合計	223	合計	396

### （3）廃棄物移動量

順位	平成 17 年度		平成 16 年度	
	市町名	移動量(トン)	市町名	移動量(トン)
1	四日市市	5,362	四日市市	3,674
2	伊賀市	619	伊賀市	652
3	亀山市	302	亀山市	453
4	津市	296	津市	343
5	鈴鹿市	254	鈴鹿市	267
	その他	948	その他	958
	合計	7,781	合計	6,347

6. 特定第一種指定化学物質（発がん性のある 12 物質）の排出量・移動量

物質名	排出量 (kg)		移動量 (kg)
	大気	公共用水域	廃棄物
石綿	0	0	1,100
エチレンオキシド	9,000	150	8,660
カドミウム及びその化合物	0	15	0
6 価クロム化合物	9	135	5,060
クロロエチレン (別名 塩化ビニル)	54,000	3,400	18,441
ニッケル化合物	21	1,016	54,616
砒素及びその無機化合物	8	20	46,460
ベリリウム及びその化合物	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0
ベンゼン	15,022	45	95
9-メトキシ-7H-フロ[3,2-g][1]ベンゾピラン-7-オン (別名 メトキサレン)	0	0	0
合計 (平成 17 年度)	78,060	4,781	134,432
合計 (平成 16 年度)	57,027	9,915	131,749

物質名	排出量 (mg-TEQ) ※		移動量 (mg-TEQ) ※
	大気	公共用水域	廃棄物
ダイオキシン類	3,848	11	8,192

※ ダイオキシン類のみ単位が異なり、TEQ は毒性当量を示します。